

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑯ 公開実用新案公報 (U)

昭57—75860

⑰ Int. Cl.³

A 47 L 23/10

// A 47 L 13/17

識別記号

庁内整理番号

6417—3B

6537—3B

⑱ 公開 昭和57年(1982)5月11日

審査請求 有

(全 2 頁)

⑲ 靴磨き用シート

09

⑳ 実 願 昭55—150973

㉑ 出 願 昭55(1980)10月24日

㉒ 考 案 者 田中耕一

名古屋市中川区富田町千音寺36

㉓ 出 願 人 日本スマート株式会社

名古屋市中川区西日置二丁目20

番13号

㉔ 代 理 人 弁理士 瀧野秀雄

㉕ 実用新案登録請求の範囲

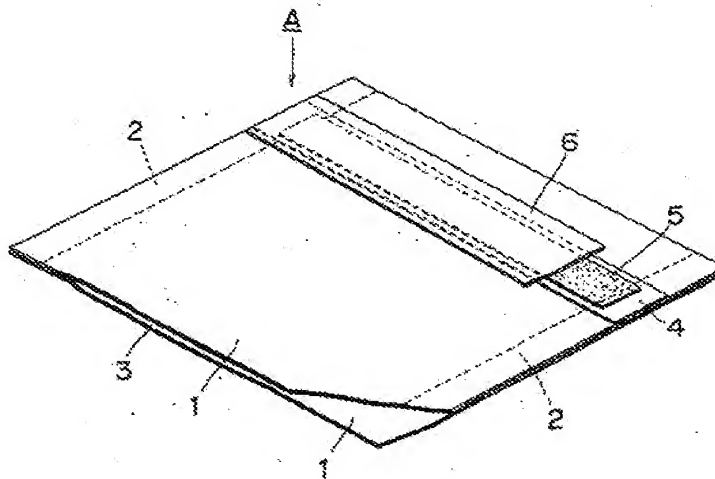
指の挿入部を有するシートの表面に被膜層を形成すると共に該被膜層の上面に靴クリームの付着層を設けて成ることを特徴とする靴磨き用シート。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例について一部を破断した状態の斜視図、第2図は本考案の他の実施例について一部を破断した状態の斜視図である。

1……シート、3……指の挿入部、4、4'……被膜層、5……靴クリームの付着層。

第1図





(4,000円)



実 用 新 案 登 録 願 (/)

昭和55年10月29日

特許庁長官 島 田 春 樹 殿

1. 考案の名称

グツィグ
靴 磨 き 用 シ ー ト

2. 考 案 者

住 所 愛知県名古屋市中川区富田町千音寺 3 6 0 9

氏 名 田 中 耕 一

3. 実用新案登録出願人

住 所 愛知県名古屋市中川区西日置二丁目 2 0 番 1 3 号

名 称 日 本 ス マ ー ト 株 式 会 社

2字増徴

代 表 者 田 中 耕 一

4. 代 理 人 住 所 東京都千代田区内幸町2-1-1(飯野ビル) 〒100

電話東京(502) 3 1 7 1 (代表)

氏 名 (6069) 弁理士 瀧 野 秀 雄

5. 添付書類の目録

- | | |
|-------------|-----|
| (1) 明 細 書 | 1 通 |
| (2) 図 面 | 1 通 |
| (3) 願書副本 | 1 通 |
| (4) 委 任 状 | 1 通 |
| (5) 出願審査請求書 | 1 通 |

方 式
在 左



75860

55 150973/

明 細 書

1. 考案の名称

靴磨き用シート

2. 実用新案登録請求の範囲

指の挿入部を有するシートの表面に被膜層を形成すると共に該被膜層の上面に靴クリームの付着層を設けて成ることを特徴とする靴磨き用シート。

3. 考案の詳細な説明

本考案は靴における塵埃の除去作業と靴クリームの塗布乃至艶出し作業が一枚のシートの操作によつて簡易、迅速に達成されるようにした靴磨き用シートを提供せんとするものである。

従来において、シートに艶出しオイルを含浸させて専ら靴の汚れ取り用としてホテルの客室等にサービス品として備えられたものが知られている

が、これにあつては靴クリームを用いないので靴に対して積極的に本来の光沢を付与することができないもので、消極的に汚れを除去する域を出ないものであつた。

これに対し、本考案においてはシート自体が靴クリームを有していることにより、該シートによつて本格的な靴磨き作業の実施が可能であり、これによつて靴に対して積極的な艶出しが簡易、迅速に為し得られるようにしたものである。

以下本考案の一実施例について図面と共に説明すれば、Aは和紙或いは和紙状の粗面と粗大な縦横間隔を有する不織布等より成る靴シートであり、表裏の紙1, 1がその一側方向における両端の接着部2, 2により接合され、該接着部2, 2間において指の挿入部3を有している。

一方の紙 1 の表面には、挿入部 3 に入れた指先に当る位置部分において前記接着部 2、2 方向に向けて合成樹脂、ラミネート加工等による被膜層 4 が形成されると共にその上には靴クリームの付着層 5 が形成され、その表面には更に保護用剝離シート 6 が設けられている。

第 2 図の実施例においては、一方の紙 1 の表面にはビニル等の合成樹脂被膜層 4' が形成され、その上面には該被膜層 4' の周縁部 4' a を余して靴クリームの付着層 5 が形成され、その表面には更にビニル等の合成樹脂から成る保護用シート 7 がその周縁部 7 a をもつて前記周縁部 4' a に対してウェルダ－手段によつて接着されるとによつて設けられている。保護用シート 7 には剝離用つまみ片 7 b が突設されている。



本考案は上記した如くに成るものであるから、旅行時において適宜携行し、或いはホテル等に備えておき、必要に応じて取り出して保護用シートを除去することにより直ちに使用することが出来るものであつて必要に応じて靴クリームの非付着面によつて汚れを除去した後靴クリームを靴に塗布し、且つ艶出し作業を行なうものである。

本考案は上記した如くに成るものであるから、携行、保管に便利であり、必要に応じて靴磨き作業が簡易、迅速に為し得られる。

また本考案においては、被膜層の上に靴クリームを設けてあるので、靴クリームの浸透、拡散を防止することが出来、長期間にわたつて保管し得る。

4 図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例について一部を破断した状態の斜視図、第2図は本考案の他の実施例について一部を破断した状態の斜視図である。

- 1 …… シート 3 …… 指の挿入部
4, 4' …… 被膜層 5 …… 靴クリームの付着層

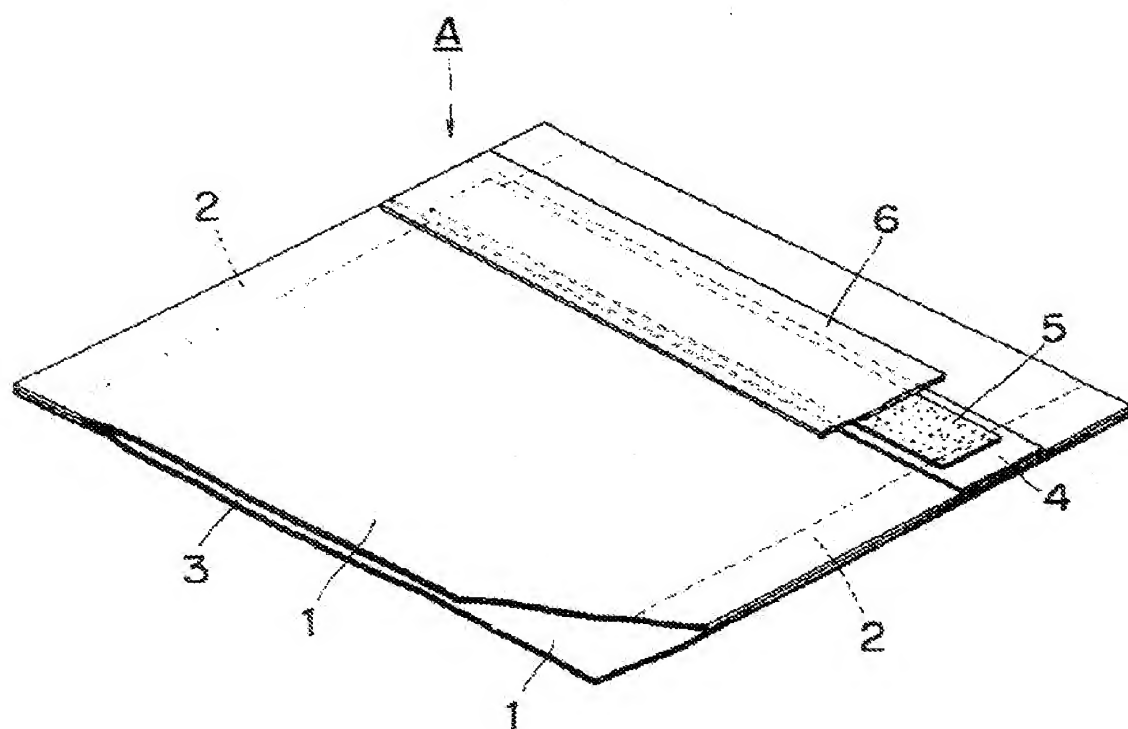
実用新案登録
出 願 人

日本スマート株式会社

代 理 人

瀧 野 秀 雄

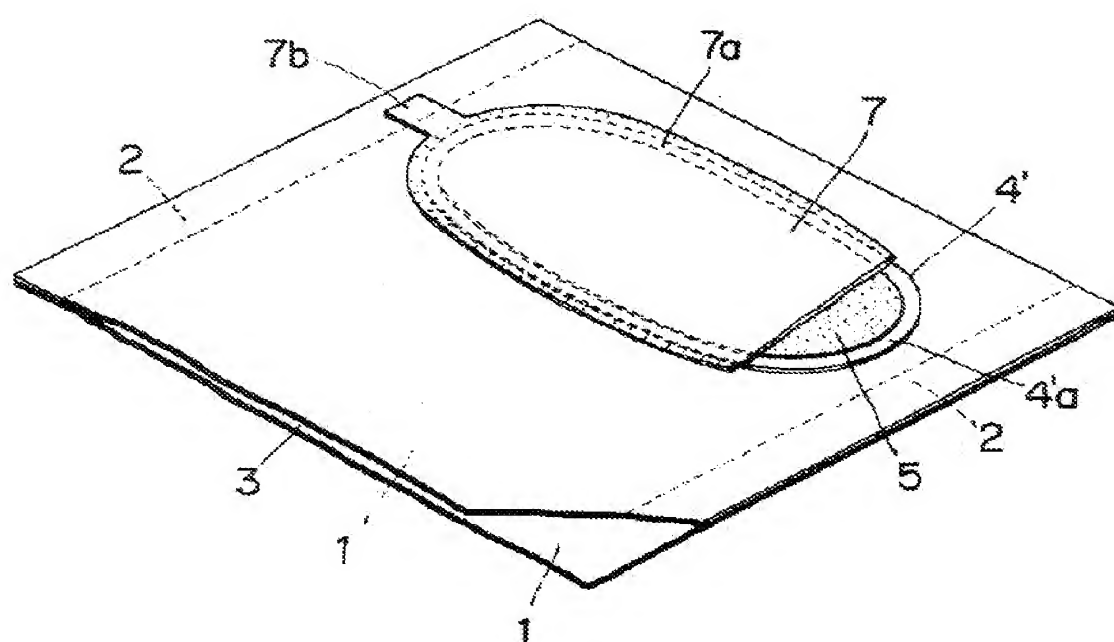
第 1 図



75860%

実用新案登録出願人 日本スマート株式会社
代理人 瀧野秀雄

第 2 図



75000 2/2

実用新案登録出願人 日本スマート株式会社
代 理 人 瀧 野 秀 雄